## 特 許 協 力 条 約

PCT

## 特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

REC'D	15	APR	2004
-------	----	-----	------

WIPO PCT

出願人又は代理人 の事類記号 F-1910	今後の手続きにつ	いては、様式PCT/	'I PEA/41	6を参照する	こと。
国際出願番号	TEN DATA A LA CARRA CONTRACTOR CO		T	-	
PCT/JP03/11008	国際出願日 (日.月.年) 25	9. 08. 2003	優先日 (日.月.年)	27.08.	2003
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. 7 Cl2N 1/0	0, C02F 1	1/02			
出願人 (氏名又は名称) 株式会社神鋼環境ソリューション					
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条(PCT36条)の	きこの国際予備審査 0規定に従い送付す	機関で作成された国際 る。	予備審査報告で	ある。	····
2. この国際予備審査報告は、この表紙を	と含めて全部で _	4 ~-	ジからなる。		
3. この報告には次の附属物件も添付される M属書類は全部で	≀ている。 ページであ	· <b>ప</b>			
補正されて、この報告の基礎 囲及び/又は図面の用紙(1	<sup>ちとされた及び/又</sup> PCT規則70.16及て	はこの国際予備審査機 『実施細則第607号	関が認めた訂正 多照)	を含む明細書	、請求の範
第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙					
b X 電子媒体は全部で ディスク 配列表に関する補充欄に示す。 ブルを含む。 (実施細則第80	ように、コンピュー	夕読み取り可能な形式	(電子娘 による配列表又	某体の種類、鬱 は配列表に関	なを示す)。 連するテー
4. この国際予備審査報告は、次の内容を			<del></del>		
│ │ │					
<ul><li>             □ 第Ⅱ欄 優先権             □ 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成             □ 第Ⅳ欄 発明の単一性の欠如         </li></ul>					
図 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明					
□ 第VI欄 ある種の引用文献 □ 第VI欄 国際出願の不備					
第四個国際出願に対す	る意見				
国際予備審査の請求書を受理した日 10.03.2004	ı	国際予備審査報告を 02.	作成した日 04.2004		
名称及びあて先		特許庁審査官(権限	のある職員)	4 N	9123
日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915		長 井	啓 子	<u> </u>	
東京都千代田区殿が関三丁目 4 看	<b>\$3号</b>	電話番号 03-3	581-110	1 内組 3	118

## 特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/11008

第 I 欄 報告の基礎	
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除く	まか、国際出願の言語を基礎とした。
□ この報告は、	がある。 全
た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、こ	6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され この報告に添付していない。)
X  出願時の国際出願書類	
明細告 第ページ、	出願時に提出されたもの
第 ページ*、 第 ページ*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
□ 請求の範囲 第	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの  付けで国際予備審査機関が受理したもの  付けで国際予備審査機関が受理したもの
□ 図面 第	出願時に提出されたもの    付けで国際予備審査機関が受理したもの   付けで国際予備審査機関が受理したもの
X 配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。	
3. 補正により、下記の書類が削除された。	•
□ 明細書 第 □ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記述	ページ 項 ページ/図 載すること)
4. この報告は、補充欄に示したように、この報えてされたものと認められるので、その補正	告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を越 がされなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
明細書       第         請求の範囲       第         図面       第         配列表(具体的に記載すること)       配列表に関連するテープル(具体的に記述の)	ページ 項 ページ/図 載すること)
* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と	: 記入されることがある。

## 特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/11008

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性 それを裏付ける文献及び説明	についての法第1	2条 (PCT35条(2)) に定める	見解、
1. 見解			
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-12	
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-12	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲請求の範囲	1-12	
2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)  文献 1: JP 2003-62559 A(日本鋼が文献 2: JP 2002-125657 A(三井造文献 3: JP 2000-167596 A(興南化文献 4: JP 2000-139449 A(東レ株文献 5: JP 9-234060 A(神鋼パン文献 6: XU, Dong et al., Phyloge and related genera inferred fro S-23S ITS nucleotide sequences. (Pt 3), pp. 695-704 文献 7: OBOJSKA, A. et al., Orga Geobacillus caldoxylosilyticus (4), pp. 2081-2084 文献 8: MAUGERI, T. L. et al., The cillus strains from shallow man 1.25(3), pp. 450-455	記解式会社) 公学工業株式会 で式会社)2000 デツク株式会 enetic relat om compariso Int J Syst anophosphona T20. Appl E	2002.05.08 会社)2000.06.20 .05.23 社)1997.09.09 ionships between Bacil n of 3' end 16S rDNA a Evol Microbiol. 2003 te utilization by the nviron Microbiol. 2002	thermophile Apr, vol. 68
請求の範囲1-12記載の発明は	は、国際調査	報告で引用した文献(ト	記 女 盐 1 <u>—</u>

請求の範囲1-12記載の発明は、国際調査報告で引用した文献(上記文献1-8)に対して新規性及び進歩性を有する。国際調査報告で引用したいずれの文献にも、有機性汚泥、生物性汚泥等の有機性固形物を可溶化する可溶化酵素の生産能を有するジオバチルス(Geobacillus)属微生物について、記載も示唆もされていない。

	<del></del>	To 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1
配列表に関する補充権	蜀	
第I欄2.の続き		
1. この国際出願で 以下に基づき国際	開示され 禁予備報	いかつ請求の範囲に係る発明に必要なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 B告を作成した。
a. タイプ	X	配列表
·		配列表に関連するテーブル
b. フォーマット		書面
	X	コンピュータ読み取り可能な形式
c. 提出時期		出願時の国際出願に含まれる
	X	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
		出願後に、調査又は予備審査のために、この国際機関に提出された
		付けで、この国際予備審査機関が補正*として受理した
2. [X] さらに、配かた配列が出版 あった。 3. 補足意見:	心表义に 質時に抗	t配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 性出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が
		•

\*第 I 欄 4. に該当する場合、差替える配列表又は配列表に関連するテーブルに "superseded" と記入されることがある。